



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ラキール 上場取引所 東
 コード番号 4074 URL <https://www.lakeel.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 努
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部 (氏名) 西村 浩 TEL 03 (6441) 3850
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,673	—	196	—	167	—	93	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 110百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	14.67	—
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は2020年12月期第2四半期については連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値及び2021年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2020年12月期及び2021年12月期第2四半期連結累計期間において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,775	1,240	32.4
2020年12月期	3,736	1,129	29.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,221百万円 2020年12月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,809	9.0	402	58.6	346	42.7	223	60.0	32.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	6,388,500株	2020年12月期	6,388,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	6,388,500株	2020年12月期2Q	－株

(注) 当社は2020年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当社グループは「The Human Based Company 私たちは「人と共に成長し継続する企業」を目指します」という理念のもと、デジタルネイティブカンパニーを標榜し、単一の技術ではなく、製品・サービス・手法を総合的に提供することで、顧客のビジネス価値の最大化に貢献してまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復が見られるなど持ち直しの動きが続いているものの、その一方で再度緊急事態宣言が発令されるなど、先行きは依然として不透明な状況であります。当社グループが属する情報サービス業界においては、「ウィズコロナ」の時代に適したテレワーク拡大やデジタル化に向けた製品やサービスの必要性が謳われ、企業のDX化やクラウド型サービスへの移行に対する関心が一段と高くなっており、当社グループの事業領域サービスに対する期待は日増しに高まっております。

このような環境の中、当社グループは、DXニーズの高まりを背景に、次世代クラウド型デジタルビジネスプラットフォーム「LaKeel DX」を中心とした関連サービスに経営資源を集中し、新製品の開発投資を継続するとともに、ユーザー基盤のさらなる拡大に努めてまいりました。

プロフェッショナルサービスの売上高は1,399,684千円となりました。既存システムの保守運用といったリカーリングレベニューが、安定した収益基盤として貢献しております。

プロダクトサービスの売上高は1,273,860千円となりました。LaKeel製品の導入とコンサルティングサービスが大きく成長し、順調に推移いたしました。

サービス別の売上高は次のとおりであります。

サービスの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)
プロフェッショナルサービス	1,399,684	52.4
プロダクトサービス	1,273,860	47.6
合計	2,673,544	100.0

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,673,544千円、営業利益は196,977千円、経常利益は167,384千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は93,724千円となりました。

なお、当社グループはLaKeel事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,261,902千円と前連結会計年度末比3,875千円の減少となりました。これは主に借入金の返済等により現金及び預金が156,791千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が96,552千円増加したこと及び前払費用の増加等でその他の流動資産が58,417千円増加したことによるものであります。また、固定資産は1,513,416千円と前連結会計年度末比42,579千円の増加となりました。これは主にオフィス拡張に伴う内部造作等により有形固定資産が27,340千円、LaKeel製品のソフトウェア開発等により無形固定資産が10,632千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,775,318千円と前連結会計年度末比38,704千円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、1,763,942千円と前連結会計年度末比40,878千円の増加となりました。これは主に新規の前受取引増加により前受金が65,740千円増加したことによるものであります。固定負債は770,895千円と前連結会計年度末比112,765千円の減少となりました。これは主に借入金返済により長期借入金が103,879千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,534,838千円と前連結会計年度末比71,886千円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,240,480千円と前連結会計年度末比110,590千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が93,724千円増加、為替換算調整勘定が17,041千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,166,857千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は78,048千円となりました。これは主に増加要因として、税金等調整前四半期純利益167,384千円の計上、減価償却費86,877千円、その他の流動負債の増加額51,662千円があった一方で、減少要因として、売上債権の増加額94,361千円、その他の流動資産の増加額58,010千円、未払消費税等の減少額38,543千円、法人税等の支払額57,382千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は131,013千円となりました。これは主に、LaKeel製品ソフトウェア開発の無形固定資産の取得による支出90,810千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は120,929千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出103,879千円、リース債務の返済による支出11,437千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年7月16日に公表いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」における業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,648	1,166,857
受取手形及び売掛金	848,329	944,882
仕掛品	4,640	2,605
未収還付法人税等	19	—
その他	89,139	147,556
流動資産合計	2,265,777	2,261,902
固定資産		
有形固定資産		
建物	119,927	159,000
減価償却累計額	△14,794	△21,630
建物(純額)	105,132	137,370
工具、器具及び備品	104,135	107,210
減価償却累計額	△84,964	△90,258
工具、器具及び備品(純額)	19,170	16,951
リース資産	99,053	108,026
減価償却累計額	△23,327	△34,978
リース資産(純額)	75,726	73,048
有形固定資産合計	200,030	227,371
無形固定資産		
のれん	505,009	487,776
ソフトウェア	258,862	197,350
ソフトウェア仮勘定	114,286	206,964
その他	65,883	62,583
無形固定資産合計	944,041	954,674
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	317,373	317,373
繰延税金資産	9,341	13,997
その他	49	—
投資その他の資産合計	326,764	331,370
固定資産合計	1,470,837	1,513,416
資産合計	3,736,614	3,775,318

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,600	156,494
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	192,364	192,364
リース債務	21,297	23,738
未払金	67,570	66,403
未払費用	108,186	85,863
未払法人税等	77,945	98,425
未払消費税等	106,231	67,422
前受金	281,227	346,968
賞与引当金	20,469	25,864
資産除去債務	—	4,162
その他	107,170	96,234
流動負債合計	1,723,063	1,763,942
固定負債		
長期借入金	771,137	667,258
リース債務	56,548	51,824
資産除去債務	55,975	51,813
固定負債合計	883,660	770,895
負債合計	2,606,724	2,534,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,062	341,062
資本剰余金	449,010	449,010
利益剰余金	330,450	424,175
株主資本合計	1,120,524	1,214,249
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,780	7,260
その他の包括利益累計額合計	△9,780	7,260
新株予約権	600	600
非支配株主持分	18,546	18,370
純資産合計	1,129,889	1,240,480
負債純資産合計	3,736,614	3,775,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,673,544
売上原価	1,776,902
売上総利益	896,642
販売費及び一般管理費	699,665
営業利益	196,977
営業外収益	
受取利息	33
その他	438
営業外収益合計	471
営業外費用	
支払利息	4,821
為替差損	18,418
株式交付費	2,492
上場関連費用	4,331
その他	0
営業外費用合計	30,064
経常利益	167,384
税金等調整前四半期純利益	167,384
法人税、住民税及び事業税	79,416
法人税等調整額	△4,655
法人税等合計	74,761
四半期純利益	92,623
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,101
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,724

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	92,623
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	17,966
その他の包括利益合計	17,966
四半期包括利益	110,590
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	110,766
非支配株主に係る四半期包括利益	△176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	167,384
減価償却費	86,877
のれん償却額	17,233
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,395
受取利息	△33
支払利息	4,821
株式交付費	2,492
上場関連費用	4,331
売上債権の増減額(△は増加)	△94,361
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,153
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△58,010
仕入債務の増減額(△は減少)	13,638
未払金の増減額(△は減少)	△2,648
未払費用の増減額(△は減少)	△22,323
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,543
その他の流動負債の増減額(△は減少)	51,662
その他	242
小計	140,311
利息の受取額	32
利息の支払額	△4,913
法人税等の支払額	△57,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△40,202
無形固定資産の取得による支出	△90,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△103,879
リース債務の返済による支出	△11,437
株式の発行による支出	△2,282
上場関連費用の支出	△3,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156,791
現金及び現金同等物の期首残高	1,323,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第2四半期連結累計期間において、本社の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、契約期間の延長に伴い、使用見込期間の見積りの変更を行いました。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの事業活動に一定の影響は生じているものの、その影響は限定的であると仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響については不確実性が大きく、今後の事業環境の変化により、当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

当社グループは、LaKeel事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2021年7月16日付で東京証券取引所マザーズへ上場いたしました。当社は上場にあたり、2021年6月11日開催の取締役会において、新株式の発行を決議し、2021年7月15日に払込が完了いたしました。概要は次のとおりであります。

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式840,000株
(2) 発行価格	1株につき1,400円
(3) 引受価額	1株につき1,288円
(4) 払込期日	2021年7月15日
(5) 資本組入額	1株につき644円
(6) 発行価格の総額	1,176,000千円
(7) 引受価額の総額	1,081,920千円
(8) 資本組入額の総額	増加した資本金の額540,960千円 増加した資本準備金の額540,960千円
(9) 募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
(10) 資金の使途	以下の内容で充当する予定であります。 ①当社製品の開発費 ②技術系人材の採用・育成費 ③広告宣伝費 ④借入金の返済

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2021年7月16日に東京証券取引所マザーズへ上場いたしました。当社は上場にあたり、2021年6月11日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を次のとおり決議しました。

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式189,000株
(2) 割当価格	1株につき1,288円
(3) 払込期日	2021年8月16日
(4) 資本組入額	1株につき644円
(5) 割当価格の総額	243,432千円
(6) 資本組入額の総額	増加する資本金の額121,716千円 増加する資本準備金の額121,716千円
(7) 割当先	野村證券株式会社
(8) 資金の使途	以下の内容で充当する予定であります。 ①当社製品の開発費 ②技術系人材の採用・育成費 ③広告宣伝費 ④借入金の返済